

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

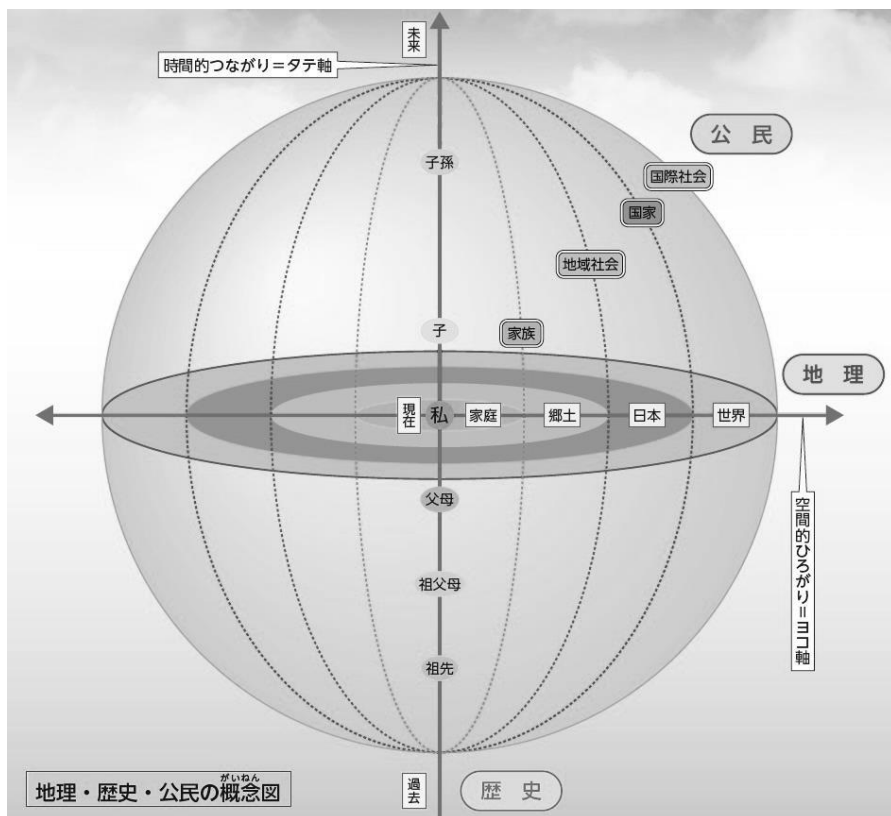
※ 受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
105-13	中学校	社会科	歴史的分野	1～3年
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
227 育鵬社	227-72	新しい日本の歴史		

1. 編修の基本方針

太古から未来へと引き継がれていく歴史——それは、過去・現在・未来という時間の「タテ軸」で連なった「いのちのバトンリレー」です。現代に生きる私たちは、この「タテ軸」と、家庭、郷土、日本、世界へと広がる「ヨコ軸」の交点にいます。

私たちは、長い歴史を持つ日本の継承者として、その伝統と文化を尊重しながら、生きる知恵を歴史に学び、共に生きる社会をより良いものにして、明るい未来を次の世代につなぐ役割を担っています。

本書は、よき日本人として地域社会を支え、日本と国際社会に貢献できる、たくましい未来の主人公を育成するための教科書です。



◇本書は、教育基本法第2条に示す教育の目標を達成するために以下の基本方針で編集しました。

(1)「幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養う」ための方針

①「歴史を大観する」活動で歴史学習への興味・関心をふくらませる

- 各章の導入に、本書に登場する先生と生徒のキャラクターが、タイムマシンに乗って時代を旅する【歴史絵巻】を設けました。これから学習する歴史的出来事や人物などのイラストとフキダシの問いで、時代を“鳥の目”で大観することにより、小学校で学習した内容をふり返りながら、歴史学習への興味・関心をふくらませ、学びに向かう意欲を喚起します。
- 序章 p. 14-17【歴史の流れと先人の活躍】では、小学校で学んだ歴史上の人物について、いつの時代にどのような活躍をしたか確認できます。【歴史人物Q & Aカード】を作ってみよう】では、興味・関心のある人物について調べてまとめる活動に取り組みます。

②歴史的な見方・考え方を働かせるための工夫

- p. 10-11【年代や時代区分の表し方】、p. 12-13【歴史的な見方・考え方を働かせる】では、【時期や年代】【推移】【比較】【相互の関連】【現在とのつながり】といった歴史学習に必要な「社会的事象の歴史的な見方・考え方」を、具体例を挙げて説明しています。
- 本文とコラム【歴史ズームイン】には、【見方・考え方】コーナーを設け、資料や学習内容について多面的・多角的な考察を深められるようにしています。

③歴史上の人物の活躍を多数紹介し情操と道徳心を培う

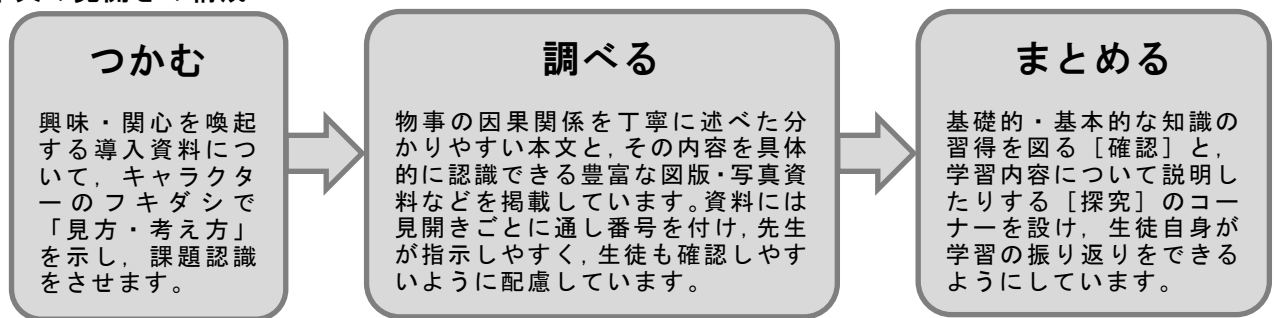
○国家・社会及び文化の発展や人々の生活の向上に尽した歴史上の人物について、肖像を載せたり、コラム【人物クローズアップ】でその業績を紹介し、その生き方や人間的魅力なども学べるようにしています。

(2)「個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養う」ための方針

①「主体的・対話的で深い学び」を支える構成

- 巻頭には、p.4-7【主体的・対話的で深い学び」を支える教科書の構成】を設け、各章の学習の流れや本文ページの構成、[活動]コーナーと[コラム]コーナーの学習上の位置づけを詳しく紹介し、学習活動がしやすくなるように配慮しています。
- 各章・節・本文ページには、単元を貫く問いとして【章の課題】【節の課題】【学習課題】を設け、生徒自身が日々の学習内容に見通しを持てるようにしています。
- 本文ページは、見開き1単位時間の紙面とし、社会科の原則である問題解決型の学習過程の流れを明確にし、生徒が主体的な学びを実現できるようにしました。

●本文の見開きの構成



- 本文の資料には、適宜、【資料活用】コーナーを設け、情報を集めたり、読み取ったり、まとめたりする活動を促します。
- 各章末には、【学習のまとめ】を設け、各時代を年表で整理できるようにしています。また、主な歴史上の出来事や人々の生活・文化の様子などについて、資料の読み取りを通して整理し、多面的・多角的に時代像をまとめる活動を設けています。
- 最終単元に p.280-283【歴史学習のまとめ】を設け、【歴史新聞を作ろう】、【日本の歴史“10大事件”】など、自分なりに歴史学習を振り返ることができるようにしています。

②各章の冒頭に各時代の人々の生活を“虫の目”で細かく見るコーナーを設置

○各章の冒頭に、その章で学習する時代の人々の生活を描いた絵画や写真を細かく見る【“虫の目”で見る歴史】コーナーを設置し、生徒に身近な生活や文化の目線で歴史をとらえられるようにしています。

(3)「正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養う」ための方針

①「主体的・対話的で深い学び」を実現するコーナーを設置

○【歴史ズームイン】には、グループで調べたり話し合ったりして取り組む活動を行う【TRY!】コーナーを設け、「主体的・対話的で深い学び」を促します。

②正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力に取り組んだ先人の事例を紹介

○正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力に取り組んだ先人の事例を資料やコラムで紹介しています。
→p.213「歴史ビュー 幻の人種平等案」、p.217「人物クローズアップ 女性解放運動の先がけとなった平塚らいてう」、p.233「人物クローズアップ 杉原千畝と樋口季一郎」など

③主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与した先人の事例を紹介

○公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与した先人の取り組みを資料やコラムで

紹介しています。

→p.131「人物クローズアップ 上杉鷹山——自らが模範となって財政を立て直した藩主」、p.193「人物クローズアップ 台湾にダムを造った八田與一」、p.264「歴史ズームイン より速く、安全に——新幹線の歴史」など

(4)「生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養う」ための方針

①持続可能な社会の形成に取り組んだ先人の事例を紹介

○生命の尊重や自然との共生に取り組んだ先人の事例を資料やコラムで紹介し、生命や自然を尊重する態度を養えます。

→p.128「歴史ズームイン 江戸時代探検！」、p.195「人物クローズアップ 足尾銅山鉱毒事件と田中正造」など

②自然災害や感染症について歴史上の先例を紹介

○東日本大震災や新型コロナウイルス感染症などの自然災害や感染症などについてコラムで大きく取り上げ、歴史的経緯を踏まえて思考できるようにしています。

→p.221「歴史ビュー 関東大震災」、p.274「歴史ズームイン 震災の日本史」、p.276「歴史ズームイン 感染症の歴史」

(5)「伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養う」ための方針

①豊かな日本の伝統と文化を数多く紹介

○巻頭に、美しいビジュアルで日本の文化史を一覧できる巻頭①-p.1【日本の美の形】を掲載しています。

○各章で学習する時代の文化の特徴について、豊富な写真資料で紹介したり、コラムで詳しく取り上げたりしています。

→p.53「歴史ビュー 現代に続く和歌の伝統」、p.140「歴史ズームイン 浮世絵の影響——ジャポニスム」など

②歴史を紡いできた人々の営みを紹介

○各時代の人々の生活習慣・様式、考え方などについて、絵巻や写真などの資料を豊富に掲載し詳しく紹介しています。また、コラムでも多面的・多角的な視点で詳しく取り上げています。

→「虫の目」で見る歴史」コーナー、p.32「歴史ズームイン 縄文時代探検！」、p.44「歴史ズームイン 日本人の宗教観」など

③身近な地域の歴史を調べる学習活動

○p.18-19【身近な地域の歴史の調べ方】では、身近な地域の歴史について調査してまとめる方法を具体例を挙げて紹介しています。さらに、【地域の歴史を調べてみよう】では、大阪(p.20-23)と横浜(p.150-153)を取り上げ、テーマ設定からまとめ方までを示しています。

④世界史の視点から歴史をとらえる学習活動

○各章で学習する時代について、日本の歴史の背景となる世界史の扱いを充実させ、世界史の視点からも日本の歴史を考察することにより、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養えます。

→p.102【ルネサンスと宗教改革】、p.222【歴史ズームイン 列強の植民地とアジアの民族運動】など

⑤歴史上の外交関係や文化交流について詳しく紹介

○各章で学習する時代における他国との外交、経済的・文化的交流や争い、当時の国際関係などについて、具体的な事例を多数紹介しています。また、近代以降の日本の領土をめぐる問題については、コラムを設けてそれぞれの歴史的経緯を詳しく説明すると共に、元島民の思いや現在の住民との交流についても紹介しています。

→p.200【歴史ズームイン 外国人が見た日本】、p.219【人物クローズアップ 世界の平和に力をつくした新渡戸稲造】、p.226【³ホロドモール犠牲者を慰霊する少女像】、p.256【歴史ズームイン 日本の領土をめぐる問題】など

2. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
各単元に共通の内容		
	<ul style="list-style-type: none"> 「時期や年代」「推移」「比較」「相互の関連」「現在とのつながり」といった歴史的な見方・考え方を働かせるコーナーを設けて、学習を深めるとともに、技能を定着できるようにしています。(第1号・第2号) 	p.11, 28, 73 など全体で 43 か所
	<ul style="list-style-type: none"> 本文の各見開きの導入資料には、資料を活用するきっかけとなる問いをキャラクターのフキダシで表し、学びへの意欲を喚起しています。(第1号) 	全体
	<ul style="list-style-type: none"> 本文の資料に対して設け、歴史学習に必要な情報を集めたり、読み取ったり、まとめたりする技能を育成し、定着できるようにしています。(第1号・第2号) 	p.30, 126 など全体で 33 か所
	<ul style="list-style-type: none"> 各章の冒頭に、その章で学習する時代に起こった出来事や活躍した人物、文化や生活などのイラストを年代順に掲載しています。小学校で学習した内容を振り返りながら、「鳥の目」で時代の流れを俯瞰することにより、歴史学習への興味・関心を高め、円滑に導入できます。(第1号) 	p.24-25, 64-65, 96-97, 146-147, 204-205, 244-245
	<ul style="list-style-type: none"> 各章の冒頭に、その章で学習する時代の人々の生活を描いた絵画や写真を掲載しています。資料読解の能力を高めるとともに、文化財を通じて日本の伝統と文化を尊重する態度を養えます。(第2号・第5号) 	p.26-27, 66-67, 98-99, 148-149, 206-207, 246-247
	<ul style="list-style-type: none"> 本文ページで学習した内容について、関連する情報やより詳しい解説を紹介しています。学習内容をより深めたり、別の視点からとらえたりしながら学習できます。(第1号・第3号) 	p.32-33, 140-141 など全体で 18 か所
	<ul style="list-style-type: none"> [歴史ズームイン]などに設け、グループで話し合ったり調べたりして取り組む対話的な活動を通じて学習を深められます。(第1号・第2号・第3号) 	p.15, 33 など全体で 16 か所
	<ul style="list-style-type: none"> 国家や社会、文化の形成や発展、人々の生活の向上、人権問題などに取り組んだ歴史上の人物を取り上げて、その活躍をくわしく紹介しています。(第1号・第3号・第5号) 	p.59, 73, 77, 137, 217, 219, など全体で 17 か所
	<ul style="list-style-type: none"> 歴史にかかわる出来事の意味や伝統と文化の特色などについて、多角的な視点から詳しく解説し、本文の学習内容に関連する知識を習得できます。(第1号) 	p.29, 47, 53, 171, 213 など全体で 15 か所
	<ul style="list-style-type: none"> 文化財の中で世界的にも価値の高いものとして国が指定した国宝と、人類が共有すべき普遍的な価値を持つ世界遺産には、それぞれマークを付けて、日本や世界の伝統と文化を尊重する態度を養えます。(第5号) 	全体
単元ごとの内容		
日本の美の形	<ul style="list-style-type: none"> 縄文時代からの日本の土器や歴史的建造物、仏像、美術作品などを時代順に紹介しています。文化財を通して日本の歴史を概観し、日本人の美意識を知ることにより、伝統と文化を尊重するとともに、それらを育んできた日本と郷土を愛する態度を養えます。(第1号・第5号) 	巻頭①-p.1
歴史の旅を始めよう	<ul style="list-style-type: none"> 歴史学習の導入として、日本が「文化の宝庫」であり、歴史とは先人の「成功や失敗の教訓」の詰まった「経験の宝庫」であることを示し、歴史を学ぶことの意義を伝え、学習に向かう態度を養えます。(第3号) 	p.8
序 章	<ul style="list-style-type: none"> 「年代や時代区分の表し方」「歴史的な見方・考え方」を解説し、歴史学習の基本となる技能を習得できます。(第1号・第2号) 	p.10-13
	<ul style="list-style-type: none"> [歴史の流れと先人の活躍]では、小学校で学んだ歴史上の人物について振り返り、歴史学習への興味・関心を高め円滑に導入できます。(第1号) 	p.14-17
	<ul style="list-style-type: none"> 身近な地域の歴史の調べ方について、手順を丁寧に説明し、[地域の歴史を調べてみよう]で、大阪(p.20-23)と横浜(p.150-153)の歴史調査の事例を紹介することにより、地域社会の歴史に興味・関心を持ち、郷土を愛する態度を養えます。(第5号) 	p.18-23 p.150-153
第1章 原始と古代の日本	<ul style="list-style-type: none"> 縄文時代の人々の生活について具体的に詳しく紹介することにより、現在につながる日本の文化を育んだ日本と郷土を愛する態度を養えます。(第5号) 	p.30-33
	<ul style="list-style-type: none"> 日本人の宗教観や、日本誕生の神話について取り上げる[歴史ズームイン]を設け、日本の伝統と文化への理解を深めるとともに、それらを育んできた日本と郷土を愛する態度を養えます。(第1号・第5号) 	p.44 p.54-55

第2章 中世の日本	・モンゴル帝国の拡大と元による日本への2度の襲来について詳しく取り上げ、巨大な隣国からの侵攻に対する当時の日本人の主体的な対応について理解できます。(第3号)	p.78-81
	・琉球とアイヌの歴史について本文で取り上げ、それぞれの文化について詳しく紹介し、日本の文化を尊重し郷土を愛する態度を養えます。(第5号)	p.86-87
第3章 近世の日本	・江戸時代の人々の生活や文化、自然との共生などについて[歴史ズームイン]を設け、詳しく解説することにより、日本の伝統に対する教養と愛着を育みます。(第4号・第5号)。	p.128-129
	・浮世絵が西洋の画家へ与えた影響について[歴史ズームイン]で取り上げ、日本の文化の国際性を理解できます。(第5号)	p.140-141
第4章 近代の日本	・[歴史ズームイン]で、日露戦争の時に戦場だけでなく政府や民間で活躍した人々を取り上げ、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養えます。(第3号)	p.196-197
	・日本の近代化について、それに寄与したお雇い外国人を[歴史ズームイン]で紹介し、他国との交流の歴史を知ることにより、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養えます。(第5号)	p.200-201
第5章 二度の世界大戦と日本	・第一次世界大戦後のパリ講和会議での「民族自決の原則」の実現について、アジアの民族運動などを扱い、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養えます。(第5号)	p.222-223
	・太平洋戦争末期の日本国民の生活の様子や戦争の惨禍について、[歴史ズームイン]で取り上げ、戦争に対する様々な思いを知るとともに国際社会の平和と発展に寄与する態度を養えます。(第1号・第5号)	p.240-241
第6章 現代の日本と世界	・戦後の国際情勢の変遷と日本の領土をめぐる問題について、地図や写真なども用いて紹介し、他国を尊重し、国際社会の平和と発展について考えるための知識と態度を育めるようにしました。(第1号・第5号)	p.252-259 p.266-269
	・日本の公害問題と、その後の環境保全の取り組みを、歴史的な事例などを通して考えることができるようにしています。(第4号)	p.261
	・日本国及び日本国民統合の象徴としての天皇と元号について[歴史ズームイン]で取り上げ、伝統と文化を尊重する態度を養えます。(第5号)	p.272
	・震災や感染症といった現代社会の課題について[歴史ズームイン]を設け、歴史的な視点・国際的な視点からとらえられます。(第1号・第4号)	p.274-277
歴史学習のまとめ	・歴史学習のまとめとして、歴史新聞を作成する活動や[日本の歴史“10大事件”][日本の歴史で重要な役割を果たした人物ベスト10]などを考える活動に取り組み、自分なりの歴史のとらえ方を育めます。(第2号)	p.280-283

3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

①すべての生徒に読みやすい紙面の工夫

- 特別支援教育の専門家からの助言を参考に、すべての生徒が読みやすい紙面になるように配慮しています。
- 文字は、ユニバーサルデザインフォント(UDフォント)を使用し、ふりがなには読み取りやすいゴシック体を用い、文字の視認性を向上させました。
- グラフや地図などの資料については、色覚特性のある生徒でも識別しやすい色を使用するようにしました。また、折れ線グラフでは、凡例を使用しないで図中に直接示すようにしたり線種を変えたり、地図では、色分けだけでなく地紋を入れたりするなど、色以外の情報からも読み取れるよう工夫しました。

②学習しやすく指導しやすい工夫

- 1単位時間で見開き2ページとし、生徒が学習内容を把握しやすく、先生方が無理なく授業を進めることができるように構成しています。
- 図版資料には、見開きごとに通し番号を付け、本文の対応する箇所に図番号を表示するなど、先生が示しやすく、生徒も確認しやすいように配慮しました。

③地球環境への配慮と丈夫な造本

- 用紙は、質の高い再生紙を使用し、環境への配慮と印刷適性を両立しています。
- 印刷には地球環境に配慮し植物油インキを使用し、造本は長期の使用に耐え得る丈夫な製本にしています。

④教科書のICT化への取り組み

- 各章冒頭に二次元コードを付し、学習内容に関連する動画の閲覧や情報収集を助け自学自習ができます。
- 学習者用デジタル教科書を発行する予定です。

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表, 配当授業時数表)

※ 受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
105-13	中学校	社会科	歴史的分野	1～3年
※ 発行者の番号・略称	※ 教科書の記号・番号	※ 教科書名		
227 育鵬社	227-72	新しい日本の歴史		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

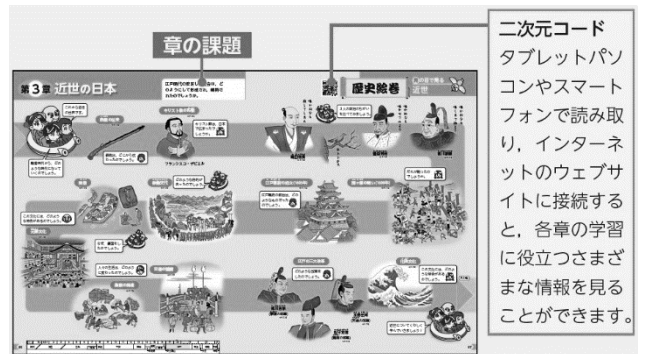
A 主として学習指導要領の総則の内容を達成するための特色

① 「主体的・対話的で深い学び」を実現する構成

- 第1～6章は、[歴史絵巻] → [虫の目で見える時代] → [本文ページ][特設ページ] → [学習のまとめ]で構成しており、社会科の原則である課題解決型の学習過程の流れを明確にし、生徒が主体的な学びを実現できるようにしています。
- 各章・節・本文ページには、単元を貫く問いとして[章の課題][節の課題][学習課題]を設け、生徒自身が日々の学習内容に見通しを持てるようにしています。

② 歴史の大きな流れを理解する工夫

- 各章の導入に、本書に登場する先生と生徒のキャラクターが、タイムマシンに乗って時代を旅する[歴史絵巻]を設けました。これから学習する歴史的出来事や人物などのイラストとフキダシの問いで、時代を“鳥の目”で大観することにより、小学校で学習した内容を振り返りながら、歴史の大きな流れを理解できるようになっています。
- p.24-25,64-65,96-97,146-147,204-205,244-245



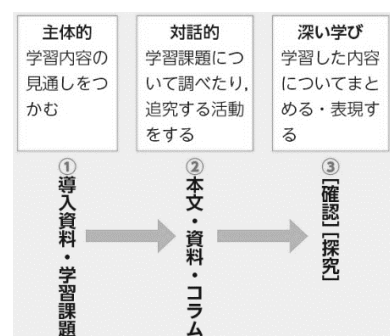
③ 資料から時代の特色を理解する工夫

- 各章の冒頭に、その章で学習する時代の人々の生活を描いた絵画や写真を細かく見る[“虫の目”で見える歴史]コーナーを設置し、生徒に身近な生活や文化の目線で歴史をとらえられるようにしています。
- p.26-27,66-67,98-99,148-149,206-207,246-247



④ 学習しやすく指導しやすい構成

- 本文は1授業時間に適した教材の分量を厳選し、1つのテーマについての学習内容を「1授業時間=見開き2ページ」にまとめました。生徒が学習内容を把握しやすく、先生方が無理なく授業を進めることができるように構成しています。



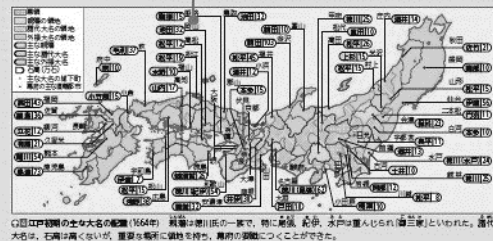
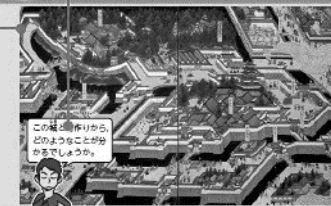
導入資料に関する問い 導入資料について考えるきっかけとなる問いをフキダシで表しています。

節の課題 節ごとの学習課題です。

資料・コラム この見開きで学習する内容に関連する画像や表・グラフ・図・コラム([人物クローズアップ][歴史ビュー]) (⇒P.7)を取り上げています。

導入資料 学習を始めるきっかけになる資料を掲載しています。

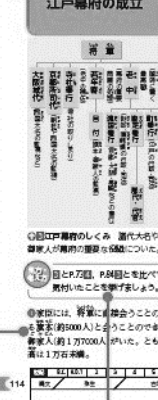
第3節 江戸幕府の政治



1. 本時の導入

学習課題 この見開きでの学習課題を示し、学習内容の見通しができます。

1. 江戸幕府の成立



徳川家康の死後、天下を治めたのは徳川家康の子孫である。家康は、土御門(安芸)の一族徳川氏をたが、しだいに勢力をのびていきました。全国を統一した秀吉によって関東に拠地を移された家康は、江戸に城を構え、町作りを進め、多くの大名を味方につけていきました。秀吉の死後、諸大名の争いとなった家康は、豊臣家をついだ徳川家康ももたせようとする石田三成らとの対立を深めました。1600(慶長5)年、天下分け目の合戦といわれた関ヶ原の戦い(早瀬)に勝利を取った家康は、1603(慶長8)年、朝廷から征夷大将軍に任じられ、江戸幕府を開きました。以後、明治時代をむかえるまでの約260年間を江戸時代といえます。家康は、その後の1614(慶長19)年の大坂冬の陣、翌年の大坂夏の陣の2回大坂城を攻め、豊臣氏をほぼ倒し、幕府の支配を固めました。江戸幕府のしくみは、3代将軍のときに、ほぼ整いました。将軍のかわり政治の運営に当たり、寺社奉行、町奉行、行によって分派されました。重要な問題が起きるとの行の会議が行われました。幕府が直接支配する領地(幕府領)以外に徳川家に任じていた旗本、御家人と

2. 本時の展開

資料番号 文章・語句に関連する資料の番号です。

関連ページ 文章・語句に関連するページを示します。

合わせる、全国の石高のおよそ4分の1(約700万石)をもちました。また、京都、大阪、奈良、長崎などの主要都市や主な産物、外交権や貨幣を作る権利を独占するなど、強大な権力を握りました。と至徳関係を結んだ1万以上の武士を、大名といえます。全国200あまりの大名を、徳川氏一門の統率、関ヶ原の戦いから徳川氏の家臣だった徳川氏に代って従った外様親類や家臣を要所に、江戸から遠い地域に有力外様を配した。大名の領地とその政治組織を藩といひ、幕府と藩が、人民を統治する政治制度のことを藩閥制といひます。幕府による 幕府は政治制度を定め、大名が許可なく城を築き改築することや、大船を建造すること、大名家どうしが無断で結婚することなどを禁じました。また、家元は、幕府交代の制度を定め、大名に対して1年おきに領地と江戸を往復させること、妻子を江戸に住ませることを義務づけました。参勤交代には多額の費用がかかり、そして、幕府から江戸城の改修や河川の工事なども命じられたため、大名は、幕府に反抗する力を失いました。幕府にとって征夷大将軍という役割は全国支配のよりどころであり、任命者は朝廷でした。幕府は朝廷を敬いながらも幕中政治家補佐を定め、京都府司を置き、朝廷の動きを監視し、幕府をおびやかさないよう注意を払いました。江戸幕府のしくみは、どのようなもので、本文から読み出して、江戸幕府、大名に類似するものに、どのような政体で行ったのか、藩の発展と関係について調べてみましょう。



側注 本文の補足説明です。

活動 本文や資料と関連する活動について、[見方・考え方][資料活用](⇒P.6)のコーナーで取り上げています。

年表 この見開きで学習する時代や年代を示しています。

[確認]と[探究] [学習課題]に対応し、学習内容をふり返る課題です。[確認]は基礎的・基本的な内容の学習を確認する課題、[探究]は学習内容を参考に説明したりする課題です。

⑤ 学習内容を深める [歴史ズームイン]

- [歴史ズームイン] では、本文ページで学習した内容について、より深めるための解説をしたり、別の視点からの見方を示すための資料や情報を紹介しています。→p.32-33, 140-141 など
- [TRY!] コーナーでは、調べ学習やグループでの話し合い、発表など、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた活動を促しています。



歴史の影 — ジャゴニム

ジャゴニムは、江戸時代中期に活躍した浮世草子作家で、江戸の町を舞台にした小説や戯作を数多く著した。その代表作『浮世草子』は、江戸の町を舞台にした小説で、当時の生活や文化を詳しく描き出している。また、『浮世草子』は、江戸の町を舞台にした小説で、当時の生活や文化を詳しく描き出している。

↑ p. 140-141

⑥ 学習のまとめ

- 各章末には、[学習のまとめ] を設け、各時代を年表で整理できるようにしています。また、主な歴史上の出来事や人々の生活、文化の様子などを資料の読み取りを通して整理し、多面的・多角的に時代像をまとめることができるようにしています。

学習のまとめ

この学習のまとめは、江戸幕府の政治の学習内容を整理するための年表と、主要な出来事や人物の紹介を行っています。また、江戸幕府の政治の学習内容を整理するための年表と、主要な出来事や人物の紹介を行っています。

↑ p. 144-145

⑦身近な地域の歴史を調べる学習

- p.18-19 [身近な地域の歴史の調べ方] では、身近な地域の歴史について調査してまとめる方法について具体例を挙げて紹介しています。さらに、[地域の歴史を調べてみよう]では、大阪（p.20-23）と横浜（p.150-153）を取り上げ、テーマ設定からまとめ方までを示しています。



↑ p. 20-21

⑧生命の有限性や自然の大切さ理解できる教材を紹介

- 生命の尊重や自然との共生についての先人の取り組みを資料やコラムで紹介し、生命や自然を尊重する態度を養えます。
 - p.128「歴史ズームイン 江戸時代探検！」, p.195「人物クローズアップ 足尾銅山鉱毒事件と田中正造」など
- 東日本大震災や新型コロナウイルス感染症などの自然災害や感染症などについて、コラムで大きく取り上げ、歴史上の先例や歴史的経緯を踏まえて思考できるようにしています。
 - p.221「歴史ビュー 関東大震災」, p.274「歴史ズームイン 震災の日本史」, p.276「歴史ズームイン 感染症の歴史」

⑨小学校・高等学校との連携

- 序章 p.14-17 [歴史の流れと先人の活躍] では、小学校で学んだ歴史上の人物について、いつの時代にどのような活躍をしたか確認できるようにしています。また、[[歴史人物Q&Aカード]を作ってみよう]では、興味・関心のある人物について調べてまとめる活動に取り組めるようにしています。
- 高等学校「歴史総合」にも必要な歴史の見方と考え方について、p.10-11 [年代や時代区分の表し方], p.12-13 [歴史的な見方・考え方を働かせる]を設け、[時期や年代][推移][比較][相互の関連][現在とのつながり]について具体例を挙げて説明しています。



↑ p. 14-15

⑩道徳教育に関する配慮

- 正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力についての先人の取り組みなど、道徳教育の学習内容にも役立つ資料やコラムを掲載しています。
 - p.213「歴史ビュー 幻の人種平等案」, p.217「人物クローズアップ 女性解放運動の先がけとなった平塚らいてう」, p.233「人物クローズアップ 杉原千畝と樋口季一郎」など

B 主として社会科の目標・歴史的分野の目標の達成のための特色

①歴史的な見方・考え方を働かせるための工夫

- 歴史学習に必要な歴史の見方と考え方について、p.10-11 [年代や時代区分の表し方], p.12-13 [歴史的な見方・考え方を働かせる]を設け、[時期や年代][推移][比較][相互の関連][現在とのつながり]について具体例を挙げて説明しています。
- 本文とコラム [歴史ズームイン] には、[見方・考え方] コーナーを設け、資料や学習内容について多面的・多角的な考察を深められるようにしています。



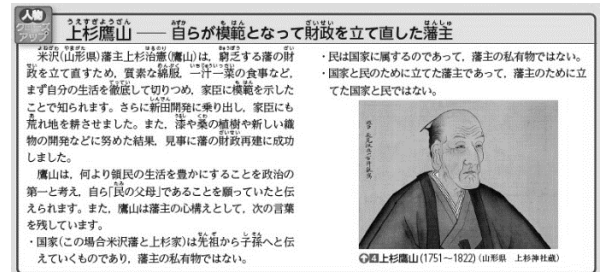
②主体的な学びを実現するための工夫

○本文の資料については、適宜、[資料活用] コーナーを設け、情報を集めたり、読み取ったり、まとめたりする活動を促します。

③主体的に社会の課題を追究、解決し、発展に寄与した先人の事例を紹介

○主体的に社会の課題を追究、解決し、その発展に寄与した先人の取り組みを資料やコラムで紹介しています。

→p.131「人物クローズアップ 上杉鷹山——自らが模範となって財政を立て直した藩主」、p.193「台湾にダムを造った八田與一」、p.264「歴史ズームイン より速く、安全に——新幹線の歴史」など



↑ p. 131

④豊かな日本の伝統と文化を数多く紹介

○巻頭に、美しいビジュアルで文化史を一覧できる「日本の美の形」(巻頭①-p.1)を掲載しています。

○各章で学習する時代の文化の特徴について、豊富な写真資料で紹介したり、コラムで詳しく取り上げたりしています。

→p.53「歴史ビュー 現代に続く和歌の伝統」、p.140「歴史ズームイン 浮世絵の影響——ジャポニスム」など



↑ 巻頭①②

⑤歴史を紡いできた人々の営みを紹介

○各時代の人々の生活習慣・様式、考え方などについて、絵巻や写真などの資料を豊富に掲載し詳しく紹介しています。また、コラムでも多面的・多角的な視点で詳しく取り上げています。

→p.26「虫の目で見ると原始・古代 貴族の生活を見てみよう」、p.32「歴史ズームイン 縄文時代探検!」、p.44「日本人の宗教観」など

⑥世界史の視点から歴史をとらえる学習

○各章で学習する時代について、日本の歴史の背景となる世界史の扱いを充実させ、世界史の視点からも日本の歴史を考察できるようにしています。

→p.102「ルネサンスと宗教改革」、p.222「歴史ズームイン 列強の植民地とアジアの民族運動」など

⑦歴史上の外交関係や文化交流について詳しく紹介

○各章で学習する時代における他国との外交、経済的・文化的交流や争い、当時の国際関係などについて、具体的な事例を多数紹介しています。また、近代以降の日本の領土をめぐる問題については、コラムを設け、それぞれの歴史的経緯を詳しく説明するとともに、元島民の思いや現在の住民との交流についても紹介するようにしています。

→p.200「外国人が見た日本」、p.219「人物クローズアップ 世界の平和に力をつくした新渡戸稲造」、p.226「3ホロドモル犠牲者を慰霊する少女像」、p.256「歴史ズームイン 日本の領土をめぐる問題」など

C すべての生徒にとって使いやすい教科書であるための配慮

- 特別支援教育の専門家からの助言を参考に、すべての生徒が読み取りやすい紙面となるように配慮しています。
- 文字は、ユニバーサルデザインフォント（UDフォント）を使用し、ふりがなには読み取りやすいゴシック体を用い、文字の視認性を向上させました。
- グラフや地図などの資料については、色覚特性のある生徒でも識別しやすい色を使用するようにしました。また、折れ線グラフでは、凡例を使用しないで図中に直接示すようにしたり線種を変えたり、地図では、色分けだけでなく地紋を入れたりするなど、色以外の情報からも読み取れるよう工夫しました。
- 各章の導入に二次元コードを付し、学習内容に関連する動画を閲覧したり、情報を収集したりして、自学自習できるようにしています。
- 学習者用デジタル教科書を発行する予定です。

2. 対照表

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当時数
日本の美の形	A(1)	巻頭①-p.1	1
序章	A(1)(2)	p.10-23	【7】
1 年代や時代区分の表し方	A(1)	p.10-11	1
2 歴史的な見方・考え方を働かせる	A(1)	p.12-13	1
3 歴史の流れと先人の活躍	A(1)	p.14-17	4
4 身近な地域の歴史の調べ方	A(2)	p.18-19	1
【地域の歴史を調べてみよう①】大阪の歴史・ワクワク調査隊	A(2)	p.20-23	(6)
第1章 原始と古代の日本	B(1)	p.24-63	【16】
第1節 日本のあけぼのと世界の文明	B(1)	p.28-45	7
第2節 「日本」の国の成り立ち	B(1)	p.46-61	6
第2章 中世の日本	B(2)	p.64-95	【16】
第1節 武家政治の成立	B(2)	p.68-77	5
第2節 武家政治の動き	B(2)	p.78-93	8
第3章 近世の日本	B(3)	p.96-145	【23】
第1節 ヨーロッパとの出会い	B(3)	p.100-107	4
第2節 信長・秀吉の全国統一	B(3)	p.108-113	3
第3節 江戸幕府の政治	B(3)	p.114-121	4
第4節 産業・交通の発達と町人文化	B(3)	p.122-129	3
第5節 幕府政治の改革	B(3)	p.130-143	6
第4章 近代の日本	C(1)	p.146-203	【25】
【地域の歴史を調べてみよう②】横浜の歴史・ワクワク調査隊	A(2)	p.150-153	(6)
第1節 欧米諸国の進出	C(1)	p.154-163	5
第2節 幕末の危機	C(1)	p.164-169	3
第3節 明治・日本の国づくり	C(1)	p.170-181	6
第4節 アジア最初の立憲国家・日本	C(1)	p.182-193	6
第5節 近代産業の発展と近代文化の形成	C(1)	p.194-201	2
第5章 二度の世界大戦と日本	C(1)	p.204-243	【18】
第1節 第一次世界大戦と日本	C(1)	p.208-223	7
第2節 第二次世界大戦と日本	C(1)	p.224-241	8
第6章 現代の日本と世界	C(2)	p.244-279	【13】
第1節 第二次世界大戦後の占領と再建	C(2)	p.248-251	2
第2節 冷戦と日本の復興	C(2)	p.252-265	5
第3節 冷戦の終結と日本の国際的役割	C(2)	p.266-277	3
歴史学習のまとめ	C(2)	p.280-283	6
※予備時間は、学校や生徒の実態に即して弾力的に扱ってもらうための時間です。		予備時間	4
※第1-6章の配当時数には、導入の「歴史絵巻」(1時間)、「虫の目で見ると」(1時間)、「学習のまとめ」(1時間)も含まれます。		合計	135
※内容 A(2)「身近な地域の歴史」は、「序章 4 身近な歴史の調べ方」の他に、「地域の歴史を調べてみよう」①②の2事例を参考にして6時間を配当することを想定しています。			